

避難してよかった。

犠牲者0名をめざして

ここでは、今まで『土砂災害』について学習してきたことを思い出ししながら、実際に、土砂災害を経験した人々のお話をうかがってみましょう。



レポーターの佐藤がご案内します。

わたしは今、鹿児島県垂水市にきています。

平成17年、垂水市では台風の大雨により多くの土砂災害が起ころ、5名の命が奪われてしまいました。

そのことをきっかけに、住民の防災に対する意識が変わり始めたのです。

それでは、皆さんにお話を聞いてみましょう。

どのような様子だったんですか？

あ、あの山の崩れで、家が巻き込まれ…

あつという間の出来事でした。まだ避難指示がでていなかったため、避難していません。

あ、あつという間の出来事でした。まだ避難指示がでていなかったため、避難していません。

住民の方々と協力しているんですね。

あ、あつという間の出来事でした。まだ避難指示がでていなかったため、避難していません。

「総合防災訓練」に参加することで、住民に「防災意識」が生まれ、危険を感じたら「みんなで協力して避難する」心構えもできたんじゃないかと、行政が出来ることは限られているから、「自分の身は、自分で守る。」ことが大切なんじゃないかと。

あなたの防災意識を教えてください。

「自分だけは大丈夫」ではなく、「いつ崩れるかわからない」という危機感を持つようにしています。

あなたの防災意識を教えてください。

雨が降って川の水が茶色くにごると注意しています。近所に声をかけて、みんなで避難するようにしています。

では最後に、この本を読んでいる子供たちに一言お願いします。

自然はわからない、災害はわからない、限らない！

災害はあつという間、早めの避難が大切！

梅雨の前には避難袋の確認！

「まだ大丈夫！」自己判断は危険！

家やものより命が一番！

避難して本当によかった！

ここは土砂災害警戒区域だから気をつけよう。

このがけもやっぱシラス？大丈夫かなあ？

雨の日に、川で遊ぶのは危ないね。

一番近い避難場所はあの公民館よ。

鹿児島島の土は、崩れやすいので、いつ土砂災害が発生してもおかしくないんじゃないかと、家族でしておかなければならぬよ！